

【自由意見の内容】

(調査票回収期間 平成30年12月1日～12月7日)

景況調査票の自由意見欄に244通の貴重なご意見をいただきました。

ご多用中にもかかわらずご記入をいただき、感謝申し上げます。

分類項目	意見数
1. 経済・景気動向	74
2. 業界の動向	43
3. 顧客・得意先	39
4. 為替	7
5. 金融・資金繰り	14
6. 売上・収益	44
7. 物価変動	7
8. 消費税	58
9. 人材の確保・育成	56
10. その他	12
計 (複数回答)	354

以下に、それぞれの特徴的な意見を掲載させていただきます。

なお、掲載にあたり、若干の加筆・修正を加えています。

1. 経済・景気動向について

- オリンピック後、景気が悪くなるのではと考えている。
(発電・送電・配電用機器製造業)
- 景気の良さを全く実感できない。
(パン・菓子製造業)
- 景気が良いという実感はないが、売上の数字上では比較的順調に推移している。
(その他の食料品製造業)

- 政治、環境問題が経済に及ぼす影響の見通しが立たない日が続き、不安と焦燥感がある。
(紙・紙製品卸売業)
- 原材料価格の上昇により、メーカー各社が消費税の増税前に値上げを行い、景気が悪くなっている。
(陶磁・ガラス・什器卸売業)
- オリンピック関連に期待している。
(セメント・板ガラス卸売業)
- 営業努力により何とか頑張ってきたが、冷え込みが厳しく、今後急激な落ち込みに見舞われそうである。
(ゴム・プラスチック卸売業)
- 景気が良くなっているという話をよく耳にするが、実感できない。
(がん具・娯楽用品小売業)
- 景気動向に注意が必要と感じている。
(建築設計業)
- 重油(ガソリンを含む。)が少し値下がり気味でほっとしているが、最低賃金は上昇しているため、経費増となる。
(リネンサプライ業)
- 報じられている景気の良さとはギャップを感じる。
(一般飲食店)

2. 業界の動向について

- 下請企業の衰退により、今後の生産基盤の確保が難しくなりそうだ。
(ニット製衣服製造業)
- 業界全体の高齢化が進んでいる。
(なめし革・革製材料製造業)
- 先行きの見通しが非常に良くない。
(金属被覆・熱処理業)
- 非常に厳しい。
(金型製造業)
- 暖冬の影響で防寒衣類品が全く売れない。
(婦人・子供服卸売業)
- 問屋の廃業が多く、仕入が困難。
(男子服小売業)
- 廃業が増加している。
(靴・履物小売業)
- 業界全体が低調、年々撤退が加速している。
(楽器・CD小売業)
- 新聞輸送が主力業務だが、各社電子版からの情報提供が進んでおり、夕刊の発行部数が落ち込んでいるため、先々発送がなくなるような雰囲気があり懸念している。
(道路貨物運送業)

- 業界は上向き傾向だが、オリンピック関連で都内や近郊の展示会場・運動場が使用できず、来年あたりから急速に下向きになるのではないか。

(広告・ディスプレイ業)

3. 顧客・得意先について

- 来客（見積・注文）がとにかく少ない。(貴金属・宝石製造業)
- 顧客・得意先の新規開拓が課題。(装身具・装飾品製造業)
- 顧客の倒産、統合がさらに増加している。(紙製品製造業)
- 得意先の廃業が増加し始めた。(金属被覆・熱処理業)
- 主要顧客である宿泊業者のオリンピック後の設備投資動向に注視している。(発電・送電・配電用機器製造業)
- 得意先での売り場が減少。新規販路開拓も難しい。(かばん・袋物卸売業)
- 海外顧客（主に中国）の割合が増え続けている。(装身具・身の回り品卸売業)
- 買い物客が少なく売れない。(菓子・パン類卸売業)
- 客先も、インターネット発注の傾向が強くなった。(陶磁・ガラス・什器卸売業)
- 廃業、業務縮小の得意先が出る中、なかなか新規取引先の確保ができず、売上が伸びない。(塗料卸売業)
- 顧客の来店数が減少、売上高の見込みがつかない。(婦人服小売業)
- 毎月お客様が減少している。いつまで営業できるか不安。(美容業)
- 顧客の高齢化等に伴う来場者数の減。(スポーツ施設提供業)

4. 為替について

- 為替の大きな変動は困る。円高が良い。(婦人・子供服卸売業)
- 円安と原油高のため悪化している。(菓子・パン類卸売業)
- 円安により商品価格は高くなっているが、上代と納品価格が変わらないため、その分負担となっている。(男子服小売業)

5. 金融・資金繰りについて

- 売上は増加したが、その分立替金、原材料費、人件費も一時的に増え、資金繰りに困っている。(金型製造業)
- 資金繰りが厳しく、銀行からの融資も難しい。(がん具・事務用品製造業)
- 借入金が多く、資金繰りが厳しい。(婦人服小売業)
- お金を借りなければ苦しく、借りても返せない。(鮮魚小売業)
- 顧客減少のため売上が伸びず、資金繰りが困難。(燃料小売業)

6. 売上・収益について

- 依然として消費が振るわず、売上が伸びない。(なめし革・革製材料製造業)
- ここ数年、黒字で推移しているが売上が安定しない。(情報通信機器製造業)
- 国内消費改善の見通しがなく、売上は横ばい。収益は多少ダウンした。(化粧品卸売業)
- 売上が昨年と比較して不安定。(ボルト・ナット・ねじ卸売業)
- 中間層の節約意識が高く、売上が伸び悩んでいる。(靴・履物小売業)
- 競合先も加わり、売上、収益ともに前年並みに確保することが厳しい状況。(各種食料品小売業)
- 金物・荒物、特に工具用品が落ち込んでいる。(家庭用品・他什器小売業)
- 売上が上がらないので得意先に売り込む予定だが、人材の関係で思案中。(機械設計業)
- 平成に入ってから料金値上げなしが続き、売上が低迷しているため、料金の値上げを模索している。(理容業)
- 秋は暖かい日が多く、昨年より売上が良かった。ただし、天候に左右されるので、今後寒くなると、売上減少が見込まれる。(スポーツ施設提供業)

7. 物価変動について

- 原材料価格が上昇。 (照明・電子応用装置製造業)
- 品物の上代が少しずつ値上がりしている。 (文房具・事務用品卸売業)
- 商品の仕入価格が上昇している。販売代金への値上げ分転嫁が難しい。 (建設・他一般機器卸売業)
- 11月は価格が安かった。 (野菜・果実小売業)

8. 消費税について

- ここ数年、需要が少しずつ落ちている中で消費税を上げたらさらに悪化する。 (なめし革・革製材料製造業)
- 消費税による景気の悪化が懸念される。 (金属被覆・熱処理業)
- たびたびの最低賃金の上昇、原油高による原材料費の値上に消費税の増税が加わると、先行きが不透明で予測が難しい。 (発電・送電・配電用機器製造業)
- 増税後、売上が激減することが心配。 (装身具・身の回り品卸売業)
- 売上が増えない中で負担ばかり増えるので、軽減税率やポイント付与などはやめてほしい。 (酒小売業)
- 増税は痛手。最低賃金の上昇に人件費もかさみ、まったく利益が出ない状況。 (コンビニエンスストア)
- 重税感が強まる。 (情報提供サービス業)
- 増税後の消費の落ち込みが一過性のものであってほしい。 (不動産賃貸・管理業)
- 増税後の価格をどうするべきか思案中である。 (遊技場)

9. 人材の確保・育成について

- 技術習得に年数がかかるため、人材の確保・育成が難しくなっている。 (貴金属・宝石製造業)
- 溶接工が少なく、苦慮している。 (金属素形材製品製造業)
- 配送関係の人手が不足している。 (文房具・事務用品卸売業)
- 若手人材の確保と現社員に対するキャリアアップ及び育成が必要。人件費増に伴う仕事の効率化を図る。 (セメント・板ガラス卸売業)
- 人手・人材不足が現況での喫緊の経営課題となっている。(その他化学製品卸売業)
- 採用難がさらに激化しているように思う。仕事は多いが人手不足ゆえ受注できず、売上が前年を下回る状況がこの半年で続いている。 (ソフトウェア業)
- 新卒や若者の採用に苦戦している。 (駐車場業)
- 電気工事関係の人材が集まらない。 (建築設計業)
- 売上を上げながら、人材を育成することには無理があり困難。 (機械設計業)
- 人手不足が業界で深刻化している。 (計量・非破壊検査業)
- 採用難。定着率も悪化している。 (警備業)
- 年末年始を控え、売上の上昇を見込んでいるが、パート・アルバイトの確保が難しい。 (一般飲食店)

10. その他

- アメリカと中国の貿易摩擦の日本経済への影響を注視している。 (工業用プラスチック製造業)
- アジア諸国の追い上げが厳しく、日本の先行きが心配である。 (ソフトウェア業)